

## 【様式1】

令和5年度 授業改善推進プラン

## 東久留米市立第六小学校 第5学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを整理して文章を書くことに課題が見られる児童がいる。</li> <li>・複数の資料を読み取って比較することや、読み取ったことを基に自分の考えを表現することに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを明確に表現するために、構成メモ（考えたこと・思ったことなど）を活用して内容を整理してから書かせる指導をする。 →学期2回以上の作文指導から見取る。（目標値：考えを整理して書ける児童80%以上）</li> <li>・それぞれの資料の内容を端的にまとめる活動を重ね、共通点や相違点を表にまとめる活動を経験させる。 →説明的文章や文学的文章の学習で、文章を端的にまとめて自分の考えを表現できる。（目標値：80%以上の児童）</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な計算（加法、減法、乗法九九）の速さ正確さについて個人差が大きい。</li> <li>・小数のわり算での小数点の移動や余りについての理解が充分でない児童が目立つ。</li> <li>・問題場面の理解が十分でないため、立式できなかつたり、自分の立てた式に自信をもてなかつたりする児童が目立つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎計算（主に繰り下がり減法や九九）を繰り返し練習する機会を増やす。</li> <li>・朝学習でのEライブラリで小数のわり算に取り組みできなかったところを繰り返し練習する機会を設定する。 →ワークシートやワークテスト等で、正確に解けているかを確認する。（目標値：正しく解ける児童80%以上）</li> <li>・具体物、半具体物を操作する活動や視覚的に捉えることができる教材などを多く取り入れて数量感覚を養う。図に表して考える機会を多くつくる。 →テストで正しく立式できる。（目標値：80%以上の児童） また、どのように立式したのかを自分の言葉で説明できる。（目標値：50%以上の児童）</li> </ul>

理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験や観察において、結果から分かることを考察することや、その内容を表現することに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験、観察の目的に沿った考察や結論の書き方の指導を学習計画に位置付け、時間を確保しながら自力で考察や結論を書かせるようにする。また、話し合い活動を通して、友達の考えを聞き、自分の考えを広げ、深める機会を意図的に作る。 →考察や結論について自分の考えを文章で表現することができる。（目標値：80%以上の児童）</li> </ul>
特別の 道徳 教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に多数派の考えではない場合に、自分の意見に自信をもてないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発問を工夫し、考える時間を設けたり、友達の意見を参考にできるようにペアやグループ交流を取り入れ、互いの意見を共有できるようにする。 →授業でペアやグループ、全体で自分の考えを発言できる。（目標値：90%以上の児童）</li> <li>葛藤や、分かっているけれどできないことなど、様々な場面や思いを肯定する雰囲気をつくる。 →毎回の授業の中で、友達と自分の考えを比べ、考えを広げたり深めたりできていることを、ワークシートに記述した内容や発言から見取る。</li> </ul>